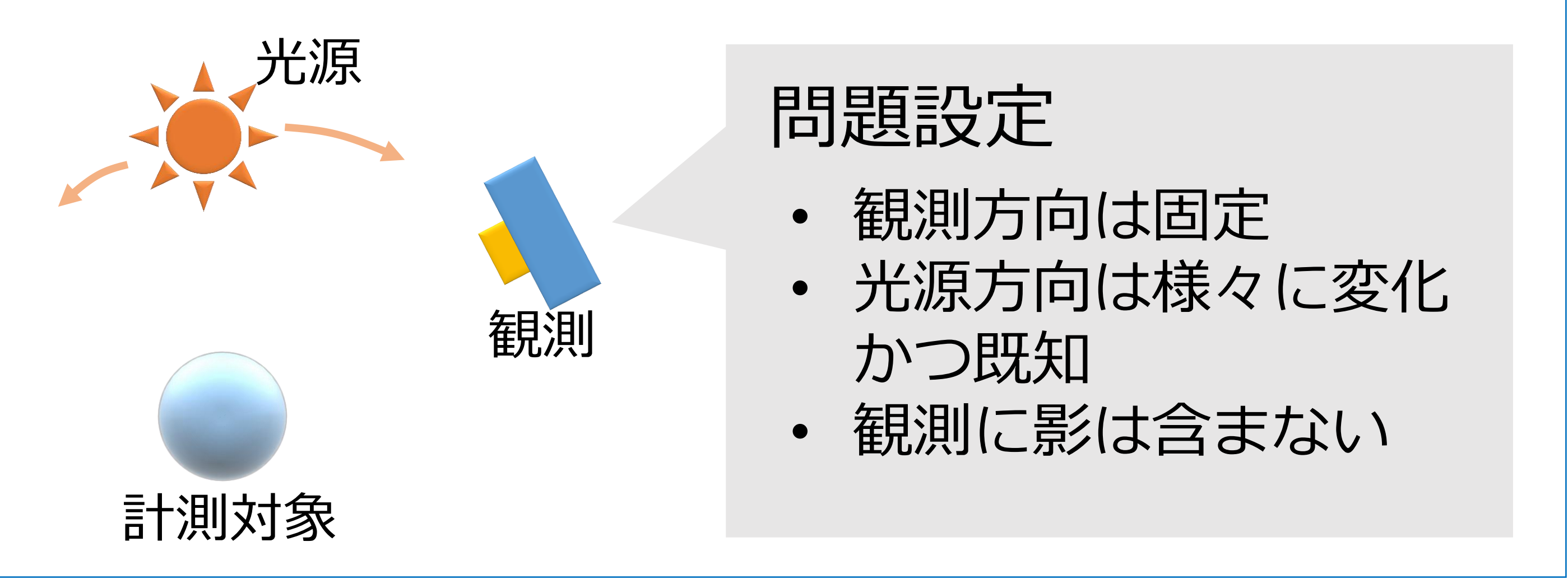


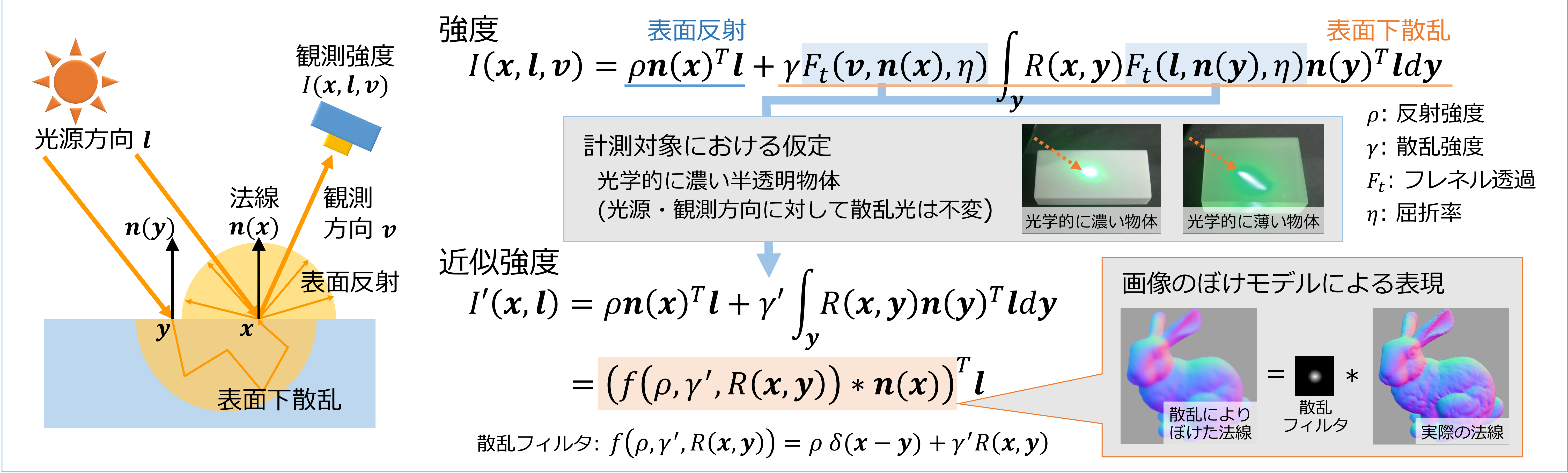
背景：半透明物体は表面の細かい凹凸を知覚しにくい



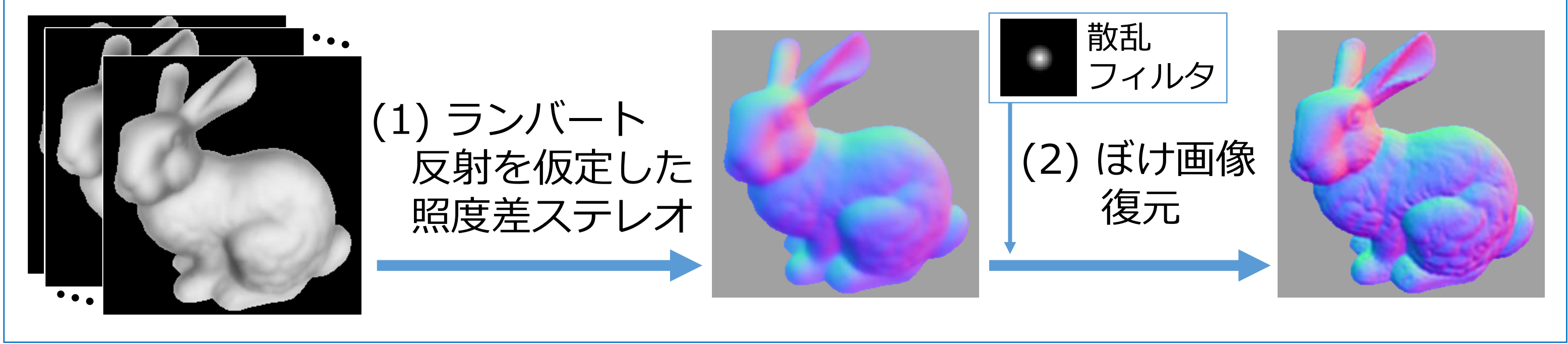
目的：半透明物体の照度差ステレオ法の実現



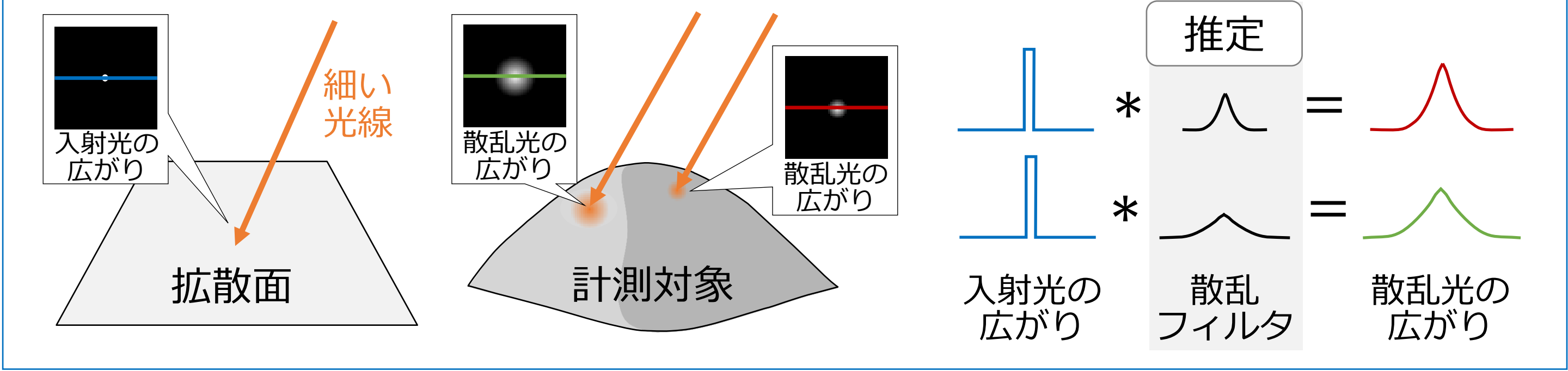
着想：半透明物体における表面下散乱の近似



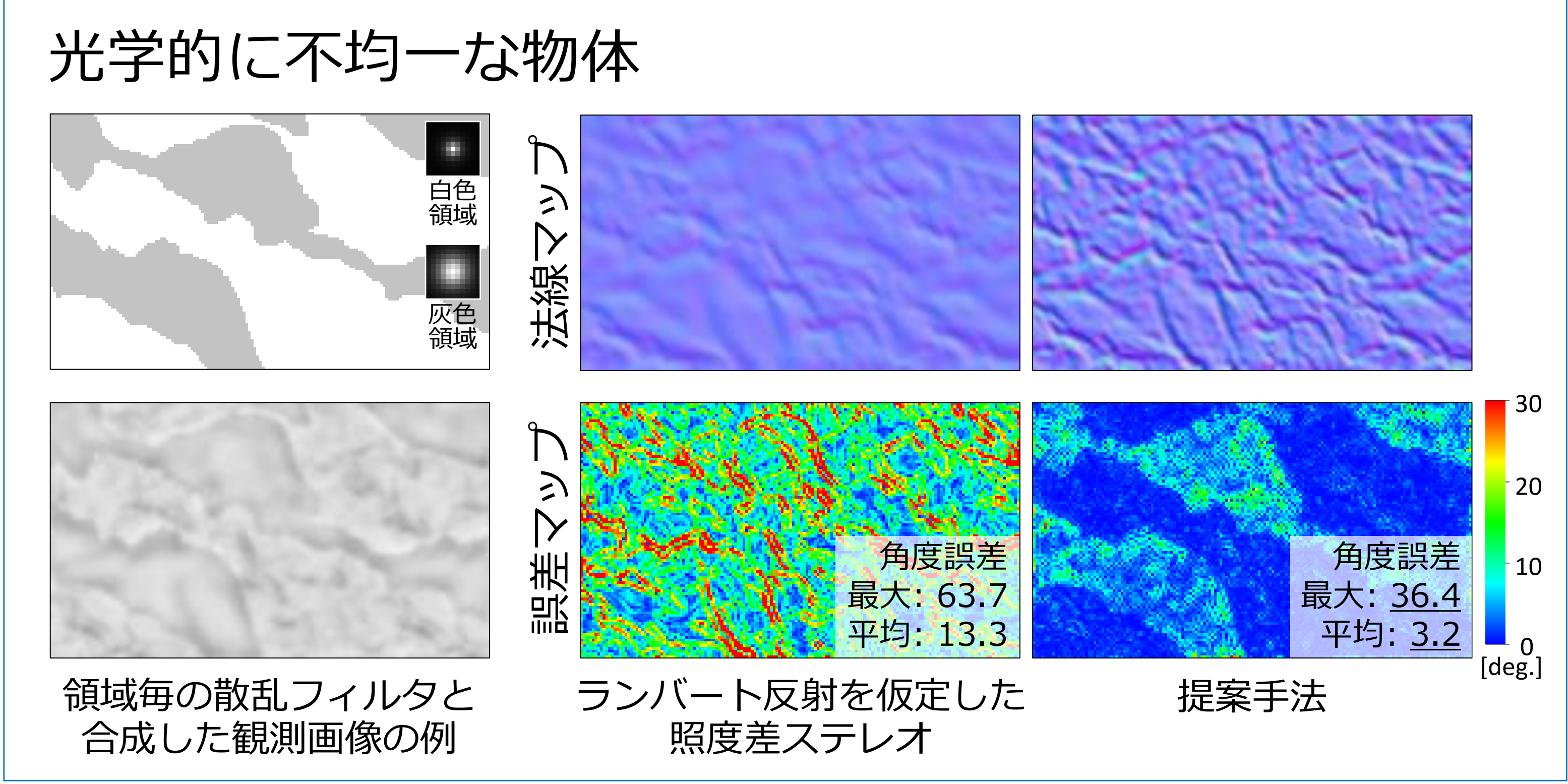
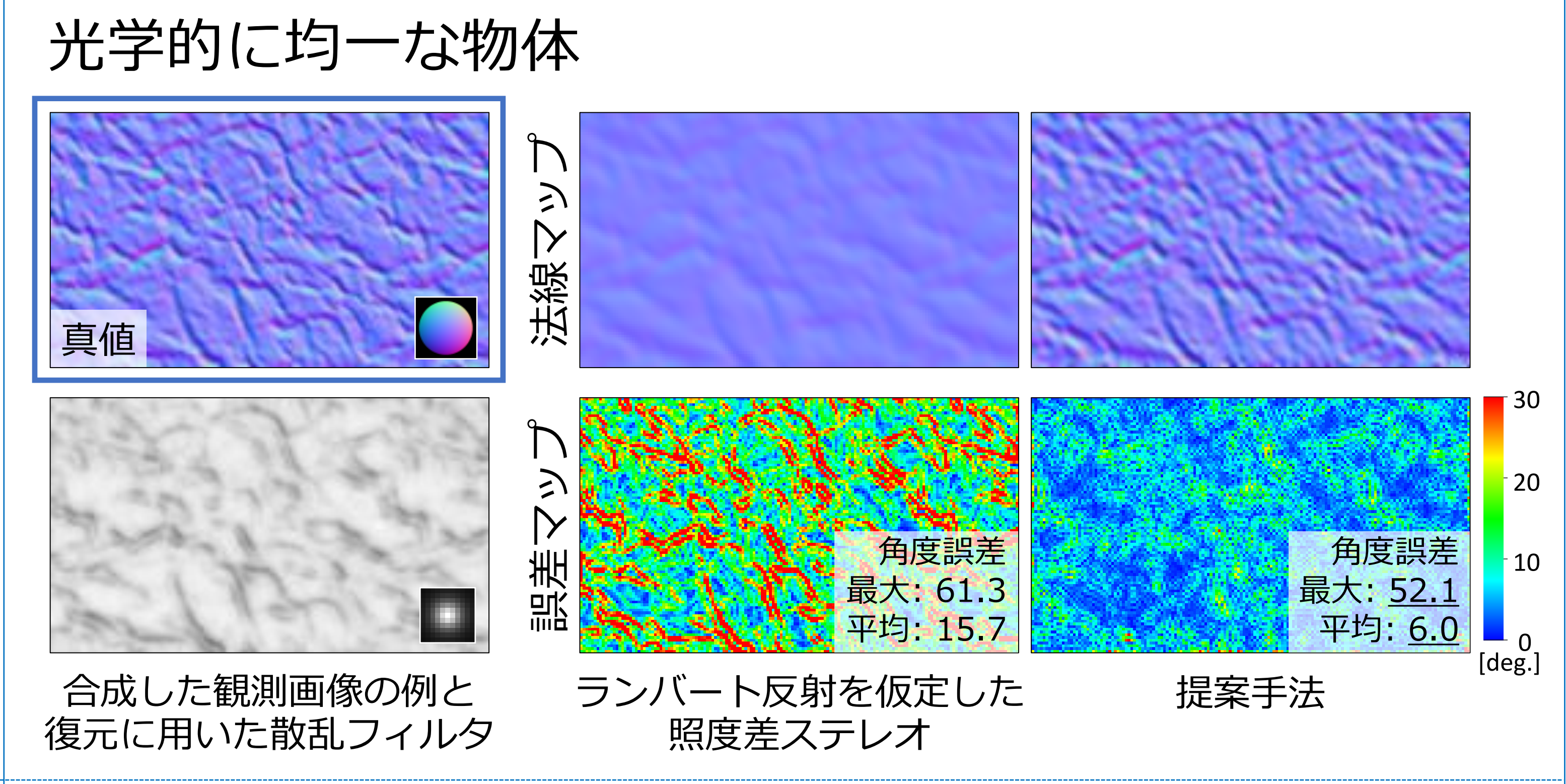
解法：2段階の処理による推定



実装：散乱フィルタのキャリブレーション



合成データによる実験



実データによる実験

